関東ESD推進ネットワーク 地域フォーラム

ひとづくり 2030

~SDGs 達成に向けた人材育成について学び・考え・行動する~

関東地方ESD活動支援センター (関東ESDセンター)

平成30年3月4日



関東ESD推進ネットワーク 地域フォーラム

ESD活動支援センター (全国・地方)設立経緯



関東EPOの主な役割

関東1都9県の

環境パートナーシップ※に関する

- □情報収集&情報提供
- □人材育成のサポート
- □情報共有の場づくり
- □各々の取組の推進・支援



※環境パートナーシップ・・・多様な主体がそれぞれ 適切に役割を分担しつつ、対等な立場において相互 に協力して行う環境活動全般(協働取組)

関東地方ESD活動支援センター Education for Scattarinable Development

EPO/GEOC

・環境省の出先機関である地方環境事務所の管轄区域(計8ブロック)ごとに 官民協働による「地方環境パートナーシップオフィス(地方EPO)」を運営 (環境教育等促進法第19条第1項に基づく拠点として位置づけ)。

・中間支援組織として、環境NPOの基盤強化支援のほか、地域の環境課題に応じて、多様な主体が対等な立場で相互に協力して課題解決に取り組むよう、コミュニケーションの場づくり等を行っている。



環境教育等促進法について(概要)

環境教育の充実

家庭、学校、職場、地域等における質の高い環境教育の実施

- ●環境教育等支援団体の指定
- ●人材認定等事業の登録 (指導者育成、教材開発・提供)

環境問題解決に向けた

各主体の意識向上

●体験の機会の場の認定

協働取組

環境行政への民間団体の参加

- ●民間団体の公共サービスの参入機会の増大
- ■政策形成への民意の反映
- 拠点機能の整備
- ●協働取組推進のための協定/申出制度の導入

行政の取組み

- ●財政上の措置等
- ●情報の積極的公表等
- ●民間の自立性への配慮
- ●行動計画・施策策定
- ●環境教育等推進会議 等

適切な役割分担に基づく

持続可能な社会の構築

環境教育とは

- 持続可能な社会 の構築を目指して、
- 家庭、学校、職場、地域その他あらゆる場において、
- 環境と社会、経済及び文化とのつながり
- その他環境の保全についての理解を深めるために行われる環境の保全に関する教育及び学習をいう

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律第2条の3



ESD推進の経緯

- 2002年(H14) 持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブルグ・サミット)で「ESDの10年(DESD)」が提唱される。
- 2005年(H17) 国連持続可能な開発のための教育の10年開始 ~2014年(H26)まで
- 2014年(H26)「ESDに関するユネスコ世界会議」においてDESDの 後継プログラムとして「ESDに関するグローバル・アクション・プログ ラム(GAP)」の開始が正式発表
- 2015年(H27) ESD活動支援企画運営準備委員会において検討開始
- 2016年(H28) 「我が国における『持続可能な開発のための教育 (ESD) に関するグローバル・アクション・プログラム』実施計画」 (ESD国内実施計画)が関係省庁連絡会議 で決定
- 2016年(H28)平成28年4月 ESD活動支援センター(全国) 開設

【ESD国内実施計画(抜粋)】

[~ESD活動に取り組む様々な主体が参画・連携し、拠点の形成とともに、地域が必要とする取組支援や情報・経験を共有できる「ESD活動支援センター(全国・地方)」を整備し、地域の実態を踏まえた効果的な運用を図っていく。]

Education for~oceooxo Sustainable ~持続可能な Development ~開発·発展

持続可能な開発のための教育

「持続可能な開発のための教育(ESD)」は、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等、人類の開発活動に起因する現代社会における様々な問題を、各人が自らの問題として主体的に捉え、身近なところから取り組むことで、それらの問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、もって持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動である。【ESD国内実施計画より】

ESD推進ネットワーク





2017年 地方ESD活動支援センター開設





【関東ESDセンターの役割】

- ① ESD活動を支援する情報共有機能
- ② 現場のニーズを反映したESD活動の 支援機能
- ③ ESD活動のネットワークの形成機能
- ④ 人材育成機能

【関東ESDセンター今年度の主要事業】

- ・ESD実践・推進にかかる相談/支援
- ウェブサイト、メールマガジン等による情報発信
- ・地域におけるESD推進の課題・ニーズ の把握
- ・関東地方ESD推進ネットワーク・ フォーラム(仮称)の開催
- ・地域ESD拠点の形成・ネットワークの 構築
- ・地域ESD拠点間、ESD実践者の学び合いの場づくり

【Webサイト】

http://kanto.esdcenter.jp/



関東地方ESD活動支援センター Education for Scattainable Davestopment

関東地方ESD活動支援センター開設

【概要】

名 称:関東地方ESD活動支援センター

略 称:関東ESDセンター

英語名: ESD Resource Center of Kanto, Japan

開設日:平成29年7月3日(月)

連絡先:〒150-0001

東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B1F

TEL: 03-6427-7975 FAX: 03-6427-7976

URL: http://kanto.esdcenter.jp/ E-mail: kanto@kanto-esdcenter.jp

【ロゴマーク】



関東地方ESD活動支援センター

Education for Sustainable Development



関東ESD推進ネットワーク 地域フォーラム

今なぜESDが必要か?

学習指導要領の改訂

■ 前文(幼・小・中)

これからの学校(幼稚園)には、・・・一人一人の生徒(幼 児・児童)が、・・・自分のよさや可能性を認識するとともに、 あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働 しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、 持続可能な社会の創り手となることができるようにする・・・ ことが求められる。このために 要な教育の在り方を具体化す るのが、各学校(幼稚園) この考え方は、 <mark>∮を組織的かつ</mark> ESDそのものです 計画的に組み立てた教育課程しめる。

平成29年3月31日公示 新学習指導要領

地球規模課題の深刻化



持続可能な開発目標(SDGs)





- ・2030年を達成期限とする17のゴール、169のターゲット
- ・"誰も取り残さない"持続可能な社会を目指す

持続可能な開発目標(SDGs)



貧困をなくす

あらゆる場所のあらゆる形態の 貧困を終わらせる。



飢餓をなくす 飢餓を終わらせ、食料安全保 障及び栄養改善を実現し、持 続可能な農業を促進する。



健康と福祉 あらゆる年齢のすべての人々の 健康的な生活を確保し、福祉 を促進する。



質の高い教育

すべての人に包摂的かつ公正な 質の高い教育を確保し、生涯 学習の機会を促進する。



ジェンダー平等

ジェンダー平等を達成し、すべて の女性及び女児の能力強化を 行う。



水と衛生

すべての人々の水と衛生の利 用可能性と持続可能な管理を



誰もが使えるえる

クリーンエネルギー すべての人々の、安価かつ信頼で きる持続可能な近代的エネルギー へのアクセスを確保する。



ディーセントワークと 経済成長

包摂的かつ持続可能な経済成長及びす べての人々の完全かつ生産的な雇用と働 きがいのある人間らしい雇用を促進する。



∢=>

産業·技術革新·社会基盤

強靱なインフラ構築、包摂的かつ持 続可能な産業化の促進及びイノベー ションの推進を図る。

各国内及び各国間の不平等を是

持続可能なまちづくり

包摂的で安全かつ強靱で持続

可能な都市及び人間居住を実

格差の是正

正する。

現する。



洋資源を保全し、持続可能な形

海洋資源

13 555 気候変動へのアクション

陸上資源 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利 用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠 化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・ 回復及び生物多様性の損失を阻止する。

持続可能な開発のために海洋・海

気候変動及びその影響を軽減す

るための緊急対策を講じる。



平和、正義、有効な制度

持続可能な開発のための平和で包摂的 な社会を促進し、すべての人々に司法へ のアクセスを提供し、あらゆるレベルにおい て効果的で説明責任のある包摂的な制 度を構築する。



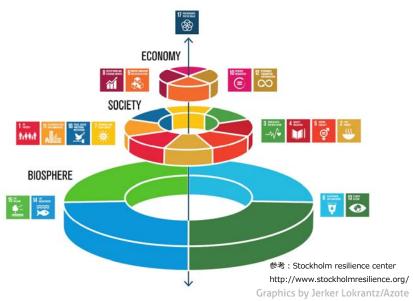
目標達成に向けた パートナーシップ

持続可能な開発のための実施手 段を強化し、グローバル・パートナー シップを活性化する。



持続可能な消費と生産 持続可能な生産消費形態 を確保する。

「SDGs」と「環境」



「SDGs」と「教育」

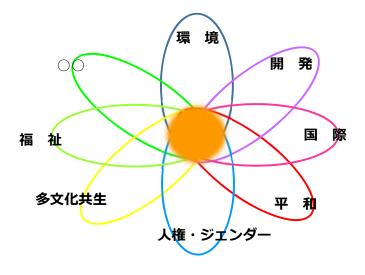
• 教育はSDGsの目標4に位置付 けられており、ESDは目標4の中 のターゲット4.7に記載されてい ます。しかし、教育については、 「教育が全てのSDGsの基礎」で あり、「全てのSDGsが教育に期 待している、とも言われていま す。特に、ESDは持続可能な社 会の担い手づくりを通じて、17全 ての目標の達成に貢献するもの です。ですから、ESDをより一層 推進することが、SDGsの達成に 直接・間接につながっています。 また、SDGsを、ESDで目指す目標 が国際的に整理されたものとし て捉えることもできます。



持続可能な開発のための教育(ESD)の更なる推進に向けて ~学校等でESDを実践されている皆様へのメッセージ~ 文部科学省 日本ユネスコ国内委員会教育小委員会

ESD最新情報事例とSDGsから考える ESDのポイント

○○教育の接点 = ESD



ESDの特徴

ESDの対象は子ども だけだはありません 学校、企業、地域住民、行政、NPO・・・ 多様な立場や世代の人々がESDの担い手であり、 学び手です。



「協働」する意識

- ・適切な役割分担
- ・対等な立場
- ・相互に協力
- = お互いの強みを 活かして、同じ課 題を共有し、協力 し合う
- = 持続可能な社会



ESDの特徴

「教える」教育で はありません 具体的な課題・問題を解決するために考え、話し合い、行動しながら学ぶ学習活動です。



「気付き」を大切 にする

- ・どうして?
- 誰が?
- ・どこで?
- ・どうしたら?



関東地方ESD活動支援センター

ESDの特徴

未来を描くこと

地域の歴史や現実を学び、そこから自分たちが望む 未来を描くことから始まります。



50年後も、 100年後も、 自分の子どもも、 孫も、そのまた 子どもも、 ずっとこの地域で 暮らすために

関東地方ESD活動支援センター

① 課題・テーマのつながりを考える







<u>本日の目的</u>

- 今日取り上げる事例は、SDGsの達成に、 アプローチしている事例です。
- これらの事例は、SDGsの達成につながる 行動・考え方が出来る人づくりに効いてい ます。

「SDGsの達成につながる行動・考え方とは、 どういうことだろう?」

「郷土愛を持つ人、地域の持続可能性を担う人、そういう人は、どういう行動や考え方ができる人のことだろう?」を掘り下げ、共有します。